



# 映画「ふるさとがえり」 心をつなぐ上映会を開いてみませんか

市民課市民交流室 ☎(25) 1162



市では、今年度、現代の地域社会が抱える、さまざまな矛盾や葛藤の物語である映画「ふるさとがえり」の自主上映会を希望する地域の協力を得て開催します。

映画の題材のひとつである消防団の現状は「つながりとは何か」を観る人に問いかけます。また、「夢」を追いかける主人公の姿は「私たちはどこで生きるべきなのか」と訴えかけます。映画を観ていただくことで「ふるさと・地域」について考える機会を市内各地に届けます。

また、映画鑑賞後には共通認識のもと、市長やゲストと映画を鑑賞した感想や地域への想いなどについて語り合う交流の場を創出します。

開催の手順として、市が上映会に必要な機材を準備しますので、上映会を希望する団体・組織などは、市民課市民交流室まで連絡をお願いします。

開催日程など打合せの上、地域での上映会開催となります。なお、鑑賞料金は無料です。くわしくは、市民課市民交流室まで問い合わせてください。

## あなたにとって、 “ふるさと”とは何ですか？

1990年、ある夏の日に、亀を助けた四人の少年。  
2010年、映画の助監督を辞め、帰郷することになった主人公・勘治。  
ふるさとを舞台に、二つの時代・物語が交差しながら進行していく。  
消防団活動に巻き込まれる勘治は、少年時代の仲間たちが「地域の平和」のために生きている姿を目の当たりにする。  
一方少年カンジは、仲間たちと「ふるさとの平和を守る亀の子団」を結成。  
ただただ遊び呆ける日々の中、夢中で描いた「竜宮伝説」という冒険物語のスケッチブックや、お寺の映画上映会の体験などを通じて、「映画監督」になる夢を抱く。  
志半ばとなった「少年時代の夢」—  
今まで振り返りもしなかった「田舎の現実」—  
20年の時を超えて、「ふるさと」への愛情と葛藤が交錯していくのだった…。  
「私たちは物語を生きている。」  
カンジが描いた「ふるさとの物語」を通じて、その想いを届けていく。

